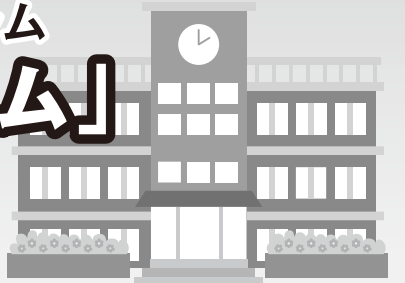


江戸川ネット ミニフォーラム 「それゆけ! タイム」



学校統廃合 をテーマに実施

2013年2月、「江戸川区立小・中学校の統合に関する基本方針」が出され、今後10年間で統合の対象となる6地域が挙げられました。その中の平井、清新町地域では、検討会が設置され議論が始まっています。

江戸川・生活者ネットワークは、昨年の12月議会において、2地域を先行した理由、学校選択制との関連などを質問、情報公開と公の場での議論を踏まえた学校統廃合方針を策定すべき、と意見を述べました。

区は「全校児童が100人以下の数は早急に対応せざるを得ない。適正配置を決めた上で、いい意味での学校選択制を実施していく」と答弁しました。

この学校統廃合について、どれだけの区民、当該の地域住民が知っているでしょうか？

江戸川ネットでは、重要なテーマについて率直に意見交換する「それゆけ! タイム」を随時実施していま

すが、今回は、先行2地域において開催しているところです。

清新町では、11月の検討会の場に出された統合計画素案に、3つの具体策が提示されました。今年3月末に方針が決定、16年4月には実施されることも明記されています。しかし、12月に行った「それゆけ! タイム」では検討会以外の現役保護者には十分な情報が伝わっていないことが明らかになりました。「学校運営には、学校関係者だけでなく地域の協力が欠かせない。統廃合は、すべての人々の理解があつてこそ、スムーズにすすめるられる。」これは参加者から出された意見です。

今後は、上二色・下小岩、松本鹿骨、松島・松江、二之江の各地域でも検討が始まります。

コミュニケーションの拠点でもある学校のあり方は今後のまちづくりにも直結することであり、住民参加で広く議論することが必要です。

(藤居阿紀子)

船堀小学校改築中断で明らかになったこと、江戸川区公共調達基本条例



こ
しんむら
新村 いく子
江戸川区議会議員

江戸川区には、区内業者の育成、地域経済の活性化につなげるための「公共調達基本条例」(2010年施行)があります。今後20年間に予定されている70校の小中学校の改築という2,000億円の大事業を、区内の事業者が受注しやすくするための条例で、第三者機関が設けられていることが特徴です。

入札方法の認定、評価方式の運営を行う「審査会」、改築事業全体に關しての監視・善処処理を行う「監視委員会」の

2つです。昨年12月、船堀小学校の改築業者が、契約締結後に債務超過に陥り、工事が中断するという事態が起きました。入札時の業者の選定、部分払い状況のチェックなどについて、これらの第三者機関は機能していないことが議会質問で明らかになりました。区内業者優先が、工事の中断を招くことのないよう改善が必要です。

競争入札は価格に重点が置かれますが、江戸川区の場合は、入札の配点を価格点50%、社会的要請点50%と二分し、社会的要請点の中で、区内下請け業者の活用だけで約30%を占めています。ほかに品質確保や従業員の安定的雇用、環境への配慮、工事成績などの項目もあり配点はあまり高くありません。

安定した工事のためには、配点の配分を見直すことが必要です。また、資材高騰や人手不足で大型公共工事の入札が不調なのは、どの自治体も同様です。JV(共同事業)によつて、大手や中堅の建設会社が事業主体となり、区内業者と組んで事業を行うこともできます。入札の結果が出た段階で、区内優先の項目をはずして比較するとうなるかなど、審査の観点を考えてみることも考えられます。

船堀小学校の事業を受け継いだ事業者は、時間の制約もあり特定の業者を指定する特命随意契約となりましたが、随意契約についても、透明性を担保するため、適用時のガイドラインを区として設けるべきです。

●インフォメーション●

「それゆけ! タイム」 小松川の新しい中学校・平井の小学校統廃合

荒川のスーパー堤防上にできる中学校には小松川第二中が移設されることになり、平井第二小では学校統廃合の議論がすすんでいます。最新情報を共有し、意見交換しましょう。

日時: 2月9日(日) 14:00~15:30
場所: 小松川さくらホール 和室1
参加費: 無料
問い合わせ: 江戸川ネット事務局
Tel/ 03-5607-5975
Email/ soreyuke@net.email.ne.jp

映画「渡されたバトン~さよなら原発」

全国で初めて住民投票で「原発建設NO!」を選択した新潟県巻町(現新潟市)が舞台。投票率88.3%という住民投票がなぜ実現できたのか。巻町の取り組みに学びましょう。

日時: 3月3日(月)
10:00 / 14:00 / 18:50 3回上映
場所: タワーホール船堀 大ホール
前売券: 1200円
問い合わせ: 上映実行委員会 Tel/ 03-3651-3135

活動あれこれ

「逃げ遅れる人々」 上映&トーク — 大盛況のうちに終了

生活クラブ運動グループ江戸川地域協議会が提案し、区内で活動する14の団体が実行委員会をつくって取り組んだこの企画は、昨年9月19日(木)、タワーホール船堀小ホールにて行われました。江戸川ネットは実行委員会事務局を担いました。

江戸川区及び江戸川区社会福祉協議会の後援を得、手話通訳者や要約筆記者が区から派遣されました。情報保障の準備や車いすのスペースを確保するため予約制にしたところ、上映2週間前には満員となりました。その後も、立ち見でもいい、ロビーのテレビでもいい、との申し込みが連日あり、関心の高さがうかがえました。

ロビーでは、DVD製作者「東北関東大震災障害者救援本部」からお借りした被災地での支援活動のパネルを展示。実行団体のひとつ「江戸川ろう者協会」も、非常時、ろう者が困ることを知らせる展示を行いました。

トークイベントには、「自立生活センターSTEPえどがわ」事務局長・今村登さん進行のもと、福島県で障害者支援に取り組む「さぼーとセンターびあ」代表理事・青田由幸さん、「ケアステーションゆうとびあ」理事長・鈴木絹江さん、江戸川区危機管理室防災危機管理課長・柿澤佳昭さんが参加。要援護者が漏れることのない名簿作成やその管理と活用方法、障害者の避難のあり方、自助の工夫など、経験者ならではの有意義なお話を伺うことができ、「目からウロコ」「とても参考になった」との声が多数寄せられました。

実行委員会では、この取り組みを通し、区に政策提案していきます。集まったカンパは、パネリストの所属団体及びDVD製作団体に3万5千円ずつ、全額寄付しました。



生活者ネットワークは
東京で唯一の
地域政党です



最も身近な自治体議会に議員を送り、地域から生活の課題を解決していきます。現在34の自治体にそれぞれ生活者ネットワークがあり、区議16人、市議33人、都議3人を擁しています。食品安全、医療、水問題など、東京全体の課題には「東京・生活者ネットワーク」として取り組んでいます。

江戸川・生活者ネットワークのルール

◆議員は交代制

議員を職業とせず、参加の層を広げるため、2期8年で交代します。議員経験者はそのキャリアを地域の市民活動に活かします。東京全体で交代した議員が175人、江戸川では4人。現職を合わせると224人の女性議員を誕生させています。

◆議員報酬は市民の活動資金に

生活者ネットワークの議席は市民のためのもの。議員は、報酬から経費を引いた額を生活者ネットに寄付し、市民の活動資金にしています。お金の流れはすべて公開しています。

◆選挙はカンパとボランティアで

選挙では、候補者が費用負担することなく、カンパとボランティアで行なっています。